

事業番号 0067

(事業名) 原子力発電施設等緊急時安全対策交付金

(担当部局) 政策統括官(原子力防災担当)

－公開プロセスの評価結果－

<取りまとめコメント>

①成果目標に関して

各道府県が事業を担当しているが、道府県の計画とその自己評価を総合した内閣府としての成果把握(総合評価)を考えて欲しい。

②事業の改善に関して

入札に際しては専門性を反映しているのか、注意が必要であろう。安全を守る業務の性格上、道府県が一般行政分野で行っている効率化策・節約方法にはなじまない。それでも効率化をすすめるならば、どんなところで効率や節約を考えるのか、内閣府として考えるべきであろう。

なお、地方分権に逆行するが、内閣府が道府県や民間企業が行う事業執行を適切にコントロールできる方法を考えるべきである。たとえば、過去の教訓を踏まえた安全対策がなされているかどうかを検証する視点も含めたチェックリストが必要であろう。

<外部有識者のコメント>

①成果目標に関して（ex. アウトカムが適切に設定されているか、事業の進捗や効果について成果目標に照らした点検及び改善が行われているか 等）

- ・非常に重要な事業だと考える。過去の危機時に必要だった対応策に則った安全対策がなされているかどうか検証するチェックシートの様な方法で効果を測ることを検討願いたい。そうした、定量的指標が可能となれば、アウトカムに反映できると考える。
- ・「緊急時対応」のとりまとめはひとつのハードルであり、一種のアウトカムであると思うが、すでに9地域が達成しており、そこから先のアウトカムを創る必要がある。「緊急時対応」を越えた対応について、チェックリストを作成して、それをもとにアウトカムを作成しはどうか。たとえば、やるべきチェックリスト50項目のうち、何項目を実現できた、というようなアウトカムを作成できればよい。アウトカム作成は国の役割である。
- ・新規地域の緊急時対応のとりまとめに向けた取り組み、緊急時対応のとりまとめ後の各地域の訓練結果から得られた教訓事項等を共有し、今後の課題や改善の方向性も具体的に示していただきたい。
- ・各道府県が事業を担当しているが、それぞれの事業評価を総合した内閣府としての成果把握（総合評価）を考えて欲しい。
- ・5つの事業を交付金で実施しているが、この5事業それぞれの「原子力発電施設等緊急時安全対策交付金」事業への貢献を把握できる成果指標を考えるべき。

②事業の改善に関して（ex. 同じ又はより少ない予算でより多くの成果を引き出す工夫はないか 等）

- ・オンサイトとの強い連携を可能とする専門人材の配置がなされており、事業としてしっかりと運営されていると感じる。そうした、専門人材が保持する危機時に必要な対策をガイダンスとしてより示し、実効性の高い安全対策を取る様に方向付けすることで、より多くの成果を引き出すことが可能だと考える。
- ・専門的な分野も多いと思うが、一者応札の理由の分析、仕様書を工夫するなどして、競争性が働くような取り組みについても確認し、適正な予算執行に努めていただきたい。
- ・安全を守る業務の性格上、効率・節約にはなじまない。それでも効率化を薦めるならば、どんなところで効率や節約を考えているのか。
- ・地方分権に逆行するが、内閣府が地方自治体や民間企業の事業執行を適切にコントロールできる方法を考えるべき。自治体には計画策定・防災会議設置だけでは心許ない。

### ③その他

- ・原子力発電施設等緊急時安全対策という専門的な事例で、何もかも一般競争入札で考えるのは違和感がある。